

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (株式会社エフ・パッケージ)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

| 項目番号 | カテゴリー | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合は選択入力 | 【予定】の場合は選択入力 | 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合は理由記載) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) | | | | | | | | | | | | | 関連項目 | | |
|-------|-------|---|-----------|---------------|--------------|--|-------------------------|-----|------------|-------------------|------------|--------------|-------------------|--------------|--------------|------|----|------|----|----------------------|----|----|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 人権・労働 | | 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している | 基本(必須) | | | ・雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる環境下で差別せず、職位・職務に応じた対応を行っている。 | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | | 16.1 16.2 16.7 | | |
| | | 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している | 基本(必須) | | | ・ハラスメント禁止の旨を就業規則に明記している。 (就業規則第16条・16条の2) ・相談窓口を設置している。 | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.8 | | | | | | | 16.1 | | |
| | | 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・労働基準法の改正内容を把握している。 ・長時間労働是正のために労働生産性の改善、時間管理を行ったための体制整備・対応を行っている。 | | | | | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | | |
| | | 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している | 基本(必須) | | 【予定】 | ・【予定】現在は外国人労働者の雇い入れがないため、外国人労働者を雇用するまでに適切な処遇や労働環境の整備を行う。 | | | | 4.4 | | | 8.7 8.8 | 10.2 10.3 | | | | | | | | |
| | | 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・服務規程の徹底。 ・加工機械毎に危険度を把握し習熟度に応じた業務の割り振りを行っている。 | | | 3 | | | | 8 | | | | | | | | | |
| | | 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・ストレスチェックの方針を就業規則に明記している。 (就業規則第64条の2) ・【予定】メンタルヘルスに関する具体的な予防対策と計画を策定する。 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・定年後の高齢者の経験を活用すべく工場勤務者募集時には積極的に高齢者の採用を行っている。 ・【予定】多様な人材が活躍できる社内チャレンジ制度（新事業、新製品開発）を検討中であり実施する。 | | | 5.1 5.5 | | | 8.5 | 10.2 10.3 | | | | | | | | | |
| | | 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している | 基本(必須) | | | ・職務や役職に応じた研修を行っている。 ・自発的な業務改善、職務遂行能力拡大を奨励し業務へ取組む活動を行っている。 | | 4 | 5.5 | | 8 | 9 | | | | | | | | | | |
| | | 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している | 基本(必須) | | 【予定】 | ・【予定】パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った給与体系を整備する。 | | | 5.5 | | 8.5 | 10.2 10.3 | | | | | | | | | | |
| | | 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・会社全体で行うBBQなど従業員同士のコミュニケーション機会を設けて職場の活性化を行っている。 ・従業員の健康課題の把握と必要な対策を行っている。 | | 3 | | | 8 | | | | | | | | | | | |
| 環境 | | 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・廃棄物の種類・量など現状を把握し、削減のための計画を策定している。(2020年～2025年) | | | | | | | | | 11.6 | 12 | | 14.1 | | | | |
| | | 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している | 基本(必須) | | | ・現状の自社のエネルギー使用量やCO2排出量を把握し、削減のための計画を策定している。(2020年～2025年) | | | | | | 7.3 | | | | 13 | | | | | | |
| | | 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・調整後排出係数を用いて現状値を把握し、削減のための計画を策定している。(2020年～2025年) | | | | | 7.2 7.3 | | | | 12.4 | 13.3 | | | | | | |
| | | 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している。(2020年～2025年) | | 3.9 | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.4 | | | | | | |

| 項目番号 | カテゴリ | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------|--|-----------|--------------|-------------|---|------------------------------|---|-----|---|-----|-----|----|-----|----|----|----|------|------|----|----|------|----|--|--|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 15 | 環境 | 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | 基本(必須) | | 【予定】 | ・【予定】事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定する。 | | | | | | | | 6.6 | | | | | | | | 15 | | | |
| 16 | | 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・日々かづけ出した廃棄物のリユースやリサイクルには、提携事業者へリサイクル素材として回収を依頼している。 ・【予定】リサイクル可能な素材の取扱種類を増加する | | | | | | | | | | | | 13 | 14.1 | | | | | | |
| 17 | | 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・現状の自社の水使用量を把握しており削減のための計画を策定している。(2020年~2025年) | | | | | 6.4 | 6.6 | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している | チャレンジ(任意) | | 【予定】 | ・【予定】2020年中の規格取得に向けて取り組みを行っている。(エコアクション21) | | | 3.9 | | 6 | 7 | | | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | | | |
| 19 | | 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している | チャレンジ(任意) | | 【予定】 | ・【予定】2020年中のエコアクション21規格取得と合わせて情報開示の方法を検討している。(HPで環境報告書を発行) | | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | | | | |
| 20 | | 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | 【予定】 | ・【予定】太陽光パネル等の設置を検討していく。 | | | | | | 7.2 | | | | | | | 13 | | | | | | |
| 21 | | 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | 【予定】 | ・【予定】非合法材を使用しない旨の方針を策定し、就業規則に追記する。 | | | | | | | | | | | | 12.2 | 13 | 14 | 15 | | | | |
| 22 | 公正な事業慣行 | 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している | 基本(必須) | | | ・汚職、贈収賄禁止と罰則等を就業規則に明記し、社内浸透を図っている。(就業規則第69条) | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 16.5 | | | |
| 23 | | 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している | 基本(必須) | | 【予定】 | ・【予定】不正競争行為禁止を含む行動規範を就業規則に追記する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| 24 | | 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・新規製品開発時は特許侵害調査を実施する。 ・自社開発製品の知的財産権の取得を進める。 | | | | | 8.2 | 8.3 | 9 | | | | | | | | | | | | |
| 25 | | 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している | 基本(必須) | | | ・特定個人情報取扱規程を定め体制を整備している。 ・管理部署に社内研修を行い法律に沿った情報管理ルールを周知徹底している。 ・【予定】EU圏内に取引先が生じた場合はGDPRを踏まえた対応を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| 26 | | 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している | チャレンジ(任意) | | | ・自社製品の原材料サプライチェーンを把握しており、顧客要望に応じて公表している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| 27 | | 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | 【予定】 | ・【予定】取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組み状況の確認活動を行う。 ・【予定】社外研修に参加して人権侵害等の理解を深め、社内に情報のフィードバックを行っていく。 | | | | 5 | | 8 | 10 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | | | | | |
| 28 | | 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/ | 基本(必須) | | | 2023年10月2日登録済み | | | 3 | | | | | 8 | 9 | 10 | | | | | | | 17 | | |

| 項目番号 | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--|-----------|--------------|-------------|--|------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|------|------|----|----|----|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 29 | 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | 基本(必須) | | | ・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しを行い必要な対応を行っている。 | | | | | | | | | | | | | | 12.4 | | | |
| 30 | | 基本(必須) | | | ・顧客からのクレーム対応や品質を保証するための仕組みを構築している。 ・【予定】ISO9001を取得する。 | | | | | | | | | | | 9 | | | | | | |
| 31 | 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・環境影響(廃プラスチック削減)に配慮した新しい製品開発を行っている。 | | | | | | | 6 | | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | |
| 32 | | チャレンジ(任意) | | | ・特定の社会課題(廃プラスチック削減)解決をテーマとした新しい製品開発を行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 33 | 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している | 基本(必須) | | | ・排出する環境汚染物質を把握し、近隣環境に与える影響に考慮している。 ・【予定】環境汚染物質の排出を生ずる新たな事業を開始する際には地域との対話を実施していく。 | | | | | | | | 4 | | | 9 | 11 | 12 | 14 | 15 | 17 | |
| 34 | | チャレンジ(任意) | 【予定】 | | ・【予定】会社周辺のごみ拾い活動を実施する。 | | | | | | | | | | | | 4 | | | 11 | 14 | 15 |
| 35 | 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している | チャレンジ(任意) | | | ・地域の原材料の優先的利用を促進する。 | | | | | | | | | 8 | 9 | | 11 | 12 | 13 | | | |
| 36 | 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している | 基本(必須) | | | ・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、環境方針・経営改善方針を定め皆が目にする場所に掲示を行っている。 | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | 17 | |
| 37 | 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している | 基本(必須) | | | ・掲示板で法令順守を全社員に向けて発信している。 ・e-ラーニングを用いて正社員向けにコンプライアンス研修を行っている。 ・【予定】コンプライアンス研修対象を全社員に拡大す | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 38 | 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している | 基本(必須) | | | ・環境管理責任者を任命し、エコアクション21規格取得に向けて取り組みを開始している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 39 | 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体) | 基本(必須) | | | ・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響把握に努めている。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 |
| 40 | 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している | チャレンジ(任意) | | | ・リスクマップ等を元にリスクの洗い出し、評価を行って重要な対策から実行している。 ・「事業継続力強化計画に係る認定」取得(2024年更新) | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 41 | 【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます | チャレンジ(任意) | | | ・地域との共存を経営理念に掲げてCSR活動に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 42 | 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している | チャレンジ(任意) | | | ・ハザードマップ等から自社のリスクを洗い出し必要な対策を始めている。 ・「事業継続力強化計画に係る認定」取得(2024年) | | | | | | | | | | 9 | 11 | 13 | 13.1 | | | 16 | |
| 43 | 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている | チャレンジ(任意) | | | ・後継者候補がいる。 ・後継者候補への中長期的な教育をスタートしている。 | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | 17 |

上記以外で設定した取組項目

| 独自に設定したSDGsに資する取組 | | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------------------|--|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当たる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当たる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定